



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月10日
上場取引所 東

上場会社名 ワイエイシー株式会社
 コード番号 6298 URL http://www.yac.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百瀬 武文
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 宮本 忠泰 TEL 042-546-1161
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	10,055	△16.0	△137	—	△15	—	1,800	—
25年3月期第3四半期	11,967	53.4	△1	—	11	—	△54	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,886百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △26百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	201.84	201.62
25年3月期第3四半期	△6.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	21,065	12,762	59.8
25年3月期	21,379	11,047	50.9

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 12,596百万円 25年3月期 10,890百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年3月期	—	10.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	0.9	200	△18.6	230	△25.6	1,900	893.0	213.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想の修正については、本日（平成26年2月10日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）大倉電気株式会社、除外 1社（社名）

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：有
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	9,674,587株	25年3月期	9,674,587株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	755,317株	25年3月期	755,317株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	8,919,270株	25年3月期3Q	8,919,327株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー報告書を受領しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では緩やかな回復基調が続き、下降局面が続いていた欧州では漸く下げ止まりつつあるものの、中国や新興国では成長鈍化が長期化する傾向にあり、総じて視界不良の状況が続いております。

日本経済においては、金融・財政政策による輸出環境の改善がなされ、個人消費・雇用情勢等の経済指標においても底堅く推移し、今後出遅れている設備投資の回復が待たれる状況にあります。

このような経済状況のもとで、当社グループは、緩やかながらも成長し続ける中国及びアジア地域を中心に営業展開を図るとともに、収益の確保にむけて原価低減及び経費削減を推進してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高100億55百万円（前年同四半期比16.0%減）、営業損失1億37百万円（前年同四半期は営業損失1百万円）、経常損失15百万円（前年同四半期は経常利益11百万円）となり、四半期純利益につきましては当社グループの拡大に伴う負ののれん発生益が生じ18億円（前年同四半期は四半期純損失54百万円）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、在外子会社の収益及び費用の換算方法の変更を行ったため、前年同四半期比較にあたっては、前年同四半期数値について遡及適用後の数値に基づき算出しております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(産業用エレクトロニクス関連事業)

ハードディスク関連装置分野では、ミニバーニッシャーや搬送装置等の拡販に努めたものの、個人向けパソコンの販売低迷によりHDD需要が停滞した影響が大きく、業績は低調に推移しました。

半導体関連装置分野では、当初パソコンやデジタル家電向けの需要減少により低迷しましたが、自動車や白物家電販売の伸びにより設備投資が生じ、業績は好転しました。

液晶関連装置分野では、スマートフォンやタブレット端末用の中型プラズマエッチング装置やアニール装置の拡販により、業績は堅調に推移しました。

加熱処理装置分野では、電子部品・自動車関係用加熱装置及び液晶用加熱装置が一部先送りとなり、業績は低調に推移しました。

太陽電池関連装置分野では、高効率パネルの国内需要が増加し、それに対応する高効率パネル用装置の販売が海外において伸び、業績は復調しつつあります。

これらの結果、当セグメントの売上高は91億31百万円（前年同四半期比18.4%減）となり、セグメント利益は1億82百万円（前年同四半期比41.3%減）となりました。

(クリーニング関連その他事業)

クリーニング関連装置分野では、国内のクリーニング需要の減少傾向が続く厳しい状況でしたが国内海外の営業強化を図るとともに原価低減に努め、業績は堅調に推移しました。

これらの結果、クリーニング関連その他事業の売上高は9億23百万円（同19.7%増）、セグメント利益は68百万円（同32.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は152億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億51百万円減少しました。主な要因は、仕掛品の減少11億62百万円、有価証券の減少7億52百万円、受取手形及び売掛金の減少2億81百万円であり、原材料及び貯蔵品の増加2億32百万円、現金及び預金の増加1億41百万円であります。固定資産は58億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億37百万円増加しました。主な要因は、投資有価証券の増加9億14百万円、建物及び構築物（純額）の増加2億2百万円、土地の増加1億93百万円であります。その結果、総資産は210億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億14百万円減少しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は48億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億56百万円減少しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少18億23百万円、短期借入金の減少2億2百万円であります。固定負債は34億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ71百万円減少しました。主な要因は、長期借入金の減少5億62百万円であり、長期未払金の増加3億32百万円、退職給付引当金の増加1億13百万円であります。

その結果、負債は83億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億28百万円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は127億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億14百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金の増加16億21百万円、為替換算調整勘定の増加67百万円であります。

この結果、自己資本比率は59.8%（前連結会計年度末は50.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想(通期)につきましては、当第3四半期連結累計期間において、大倉電気株式会社の連結子会社化に伴う特別利益(負ののれん発生益)を計上したため、前回予想を変更いたしました。

詳細につきましては、本日(平成26年2月10日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間において、大倉電気株式会社の発行済株式の全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(在外子会社の収益及び費用の本邦通貨への換算方法の変更)

在外子会社の収益及び費用は、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、在外子会社における海外売上高の重要性が増してきていること、また昨今の著しい為替相場の変動に鑑み、一時点の為替相場を用いるより、期中平均相場を用いる方が、在外子会社の業績をより適切に連結財務諸表に反映させると判断されたため、第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

これにより、遡及適用を行う前と比べて、前第3四半期連結累計期間の売上高は114,090千円、営業利益は95,179千円、経常利益は6,018千円減少し、税金等調整前四半期純損失は6,018千円増加しております。

また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は22,710千円増加し、為替換算調整勘定の前期首残高は同額減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,041,953	8,183,856
受取手形及び売掛金	3,740,033	3,458,989
有価証券	854,354	101,765
商品及び製品	140,322	209,794
仕掛品	3,503,544	2,340,755
原材料及び貯蔵品	299,348	532,314
繰延税金資産	203,027	202,862
その他	98,501	200,276
貸倒引当金	△2,167	△3,271
流動資産合計	16,878,917	15,227,344
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,262,950	2,683,418
減価償却累計額	△1,687,877	△1,905,632
建物及び構築物（純額）	575,072	777,786
機械装置及び運搬具	224,700	296,326
減価償却累計額	△198,563	△264,891
機械装置及び運搬具（純額）	26,136	31,435
工具、器具及び備品	1,579,778	2,213,769
減価償却累計額	△1,246,482	△1,953,447
工具、器具及び備品（純額）	333,296	260,322
土地	2,374,622	2,568,122
リース資産	69,051	82,344
減価償却累計額	△43,641	△52,913
リース資産（純額）	25,410	29,431
建設仮勘定	538,671	576,231
有形固定資産合計	3,873,209	4,243,328
無形固定資産		
のれん	53,190	32,854
ソフトウェア	48,240	54,575
リース資産	18,379	15,221
電話加入権	13,562	18,596
その他	—	795
無形固定資産合計	133,372	122,042
投資その他の資産		
投資有価証券	152,649	1,067,580
長期貸付金	230	116
繰延税金資産	203,920	199,563
長期滞留債権等	68,395	78,235
その他	146,900	233,488
貸倒引当金	△78,395	△106,549
投資その他の資産合計	493,701	1,472,434
固定資産合計	4,500,282	5,837,806
資産合計	21,379,200	21,065,150

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,769,362	2,945,626
短期借入金	1,168,483	966,032
1年内償還予定の社債	106,510	15,000
リース債務	17,051	12,392
未払法人税等	18,135	45,594
賞与引当金	138,108	86,958
製品保証引当金	29,454	64,851
未払費用	285,208	292,087
前受金	87,971	40,895
その他	156,547	350,650
流動負債合計	6,776,834	4,820,088
固定負債		
社債	1,000,000	1,000,000
長期借入金	1,741,768	1,179,130
長期未払金	—	332,395
リース債務	29,046	34,491
繰延税金負債	66,964	72,354
退職給付引当金	676,092	789,920
役員退職慰労引当金	40,595	46,117
その他	—	28,431
固定負債合計	3,554,467	3,482,839
負債合計	10,331,301	8,302,928
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,756,680	2,756,680
資本剰余金	3,582,276	3,582,276
利益剰余金	5,326,086	6,947,984
自己株式	△646,176	△646,176
株主資本合計	11,018,866	12,640,764
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,155	33,391
為替換算調整勘定	△144,983	△77,755
その他の包括利益累計額合計	△128,828	△44,364
新株予約権	—	6,540
少数株主持分	157,860	159,281
純資産合計	11,047,898	12,762,222
負債純資産合計	21,379,200	21,065,150

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	11,967,094	10,055,091
売上原価	10,360,617	8,501,910
売上総利益	1,606,476	1,553,180
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	626,445	696,662
賞与引当金繰入額	22,835	26,544
福利厚生費	25,026	35,003
賃借料	55,428	50,568
業務委託費	42,827	37,217
研究開発費	212,063	132,951
減価償却費	115,661	110,796
その他	507,480	600,966
販売費及び一般管理費合計	1,607,769	1,690,710
営業損失(△)	△1,293	△137,530
営業外収益		
受取利息	3,645	7,417
受取配当金	2,385	2,711
為替差益	24,151	119,905
受取賃貸料	9,053	9,171
受取保険金	3,207	—
補助金収入	929	—
その他	4,661	11,714
営業外収益合計	48,034	150,920
営業外費用		
支払利息	28,689	24,447
ファクタリング料	152	127
持分法による投資損失	776	369
その他	5,613	3,533
営業外費用合計	35,231	28,477
経常利益又は経常損失(△)	11,509	△15,087
特別利益		
固定資産売却益	—	142
負ののれん発生益	70	1,862,240
特別利益合計	70	1,862,382
特別損失		
固定資産除売却損	6,303	1,260
損害補償損失引当金繰入額	23,783	—
特別損失合計	30,086	1,260
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△18,507	1,846,033
法人税、住民税及び事業税	15,110	44,434
法人税等調整額	40,523	323
法人税等合計	55,633	44,758
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△74,141	1,801,275
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△19,245	991
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△54,895	1,800,283

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△74,141	1,801,275
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,145	17,664
為替換算調整勘定	46,303	67,228
その他の包括利益合計	47,449	84,892
四半期包括利益	△26,691	1,886,168
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,683	1,884,747
少数株主に係る四半期包括利益	△19,007	1,420

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	産業用エレクトロ ニクス関連事業	クリーニング関 連その他事業			
売上高					
外部顧客への売上高	11,195,361	771,732	11,967,094	—	11,967,094
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,195,361	771,732	11,967,094	—	11,967,094
セグメント利益	310,406	51,566	361,972	△363,265	△1,293

(注) 1. セグメント利益の調整額△363,265千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	産業用エレクトロ ニクス関連事業	クリーニング関 連その他事業			
売上高					
外部顧客への売上高	9,131,682	923,408	10,055,091	—	10,055,091
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,131,682	923,408	10,055,091	—	10,055,091
セグメント利益	182,194	68,149	250,343	△387,874	△137,530

(注) 1. セグメント利益の調整額△387,874千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(在外子会社の収益及び費用の本邦通貨への換算方法の変更)

在外子会社の収益及び費用は、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、在外子会社における海外売上高の重要性が増してきていること、また昨今の著しい為替相場の変動に鑑み、一時点の為替相場を用いるより、期中平均相場を用いる方が、在外子会社の業績をより適切に連結財務諸表に反映させると判断されたため、第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の算定方法により作成したものを記載しております。